

第2回 TRIZ シンポジウム 発表者の皆さま

「第2回 TRIZ シンポジウム」のプログラムの連絡 と 発表用原稿の依頼

2006年6月2日

日本TRIZ協議会

第2回TRIZシンポジウム

プログラム委員長

中川 徹 (大阪学院大学)

このたびは、「第2回 TRIZ シンポジウム」への発表をご受諾／ご応募いただきまして、ありがとうございました。国内および海外からも多数の意義深い発表応募をいただきまして、昨年 of 第1回よりもさらに充実したシンポジウムを開催できるものと喜んでおります。

プログラム委員会および日本 TRIZ 協議会で審議いたし、貴殿のご発表も含めて、添付のようなプログラムを決定いたしました。応募が多数でありましたため、通常の逐次型のオーラル発表(シングルトラックの場合とダブルトラックの場合あり)とともに、複数同時並行でのポスターとデモのセッションを2セッション行うことにいたしました。この振り分けや発表時間帯につきましては、なにとぞご了承いただきたくお願いいたします。もし特に不都合や変更希望がございましたら早めにご連絡ください。

つきましては、下記の要領で、ご発表に関連した原稿を期日までに提出いただきたく存じます。また同時に、参加申込みの手続きをお願いいたします。

記

1. 第2回TRIZシンポジウムの概要とプログラム

日時： 2006年8月31日(木)午後1時～9月2日(土)午後5時 [2日半]

会場： パナヒルズ大阪(大阪府吹田市) [決定済み]

詳しくは、別紙A:「第2回TRIZシンポジウム」への参加のご案内 を参照ください。また、最新の状況を『TRIZ ホームページ』内の「日本 TRIZ 協議会 公式ページ」に掲載していく予定ですので、ご参照下さい。

プログラムの概要: 別紙1参照

プログラムの 発表内容の紹介: 別紙2 (「発表申込み 概要集(申込み順)」参照)

2. シンポジウムへの参加登録と参加費

一般的な記述は、別紙 A: 「第 2 回 T R I Z シンポジウム」への参加のご案内 および
別紙 3: 参加申込み書 を参照。

特記事項:

発表者割引 (一般発表、ポスター発表とも同じ。各発表に 1 名のみ):

全日参加 (2 泊 3 日)	[2 名同室のとき]	通常	円 ==>	円
	[個室のとき]	通常	円 ==>	円

*** 注: 現在調整中です。近日中に改めてご案内いたします。 ****

参加登録: 7 月 31 日 (月) 17:00 まで [発表原稿の提出と同じ日]

3. 招待発表の発表者の方への依頼:

発表は全員が聴きます。発表 50 分 + 質疑応答 10 分。

原稿等提出資料は、下記 4. の一般発表の場合と基本的に同様です。

ただし、Proceedings への掲載は、提出いただいたものすべてとします。

(注: 一般発表では論文かスライドの一方ですが、招待発表では両方も可。)

4. 一般発表 (オーラル) の発表者への注意と依頼:

発表の形式: 1 会場で全員に対して発表する場合 (シングルトラック) と、
2 会場に分かれて並行して発表する場合 (ダブルトラック) とがあります。
発表のやり方、原稿の準備など一切は、この両方の場合で違いはありません。
PC 2 台、プロジェクタ 2 台、スクリーン 2 面で、日・英スライド並行投影。
発表 30 分 + 質疑応答 10 分。

発表の設備: 標準: 事務局で ノートパソコン 4 台 (Windows XP、PowerPoint) を用意。
USB メモリ、CD-RW など各自持参し、当日最初に読み込んでおく。

*** 注: PowerPoint のバージョンは未定です。 ***

カスタム: 各自、ノートパソコンと必要なソフト、データを持ち込む。

事務局用意の液晶プロジェクタに繋げる。

注意: この場合にも日・英スライド同時並行投影に協力下さい。

高度、特有の機能は英語訳の版では対応できない場合があります。

配布資料用の原稿ファイルの提出:

必要事項(0): 送付メール: 受理番号、発表題目、著者 (所属)、送付ファイルの概要、
和文 Proceedings 掲載項目指定、英文 Proceedings 掲載項目指定。

注意: ファイル名中に、「受理番号、著者名、内容項目、日付」の情報を
埋め込んで下さるようお願いします。

[例: TRIZSymp-08Nakagawa-eSlidesRev-060720.ppt]

特に、訂正の場合に、事務局の処理過程で新旧が紛れやすいので。

必要事項(1): 発表題目、著者(所属)、200字程度の概要、説明文(図表も可)。(和文)
全体で A4 の 1 頁、MS Word。[印刷・Web 公表用]
書式は 別紙 4 参照。申込み時のものと同じ。
申込み時のものから推敲可(表題、共著者、概要なども修正可)
(ただし、大きく変わるときには、予め連絡下さい。)

必要事項(2): 英文の発表題目、著者(所属)、概要(上記概要の英訳)。
書式は申込み時のものと同様。上記(1)とは別頁のこと。MS Word。
申込み時のものから推敲可(表題、共著者、概要なども修正可)
[英文プログラムとして、当日印刷配布]

必要事項(3): 発表スライド(和文) [PowerPoint ファイル]

要請事項(4): 発表スライド(英文) [PowerPoint ファイル]
一般発表では、スライドの日・英同時投影を行います。
英文スライド(和文スライドの英訳版)もできるだけ著者が作成下さい。
なお、著者が英文スライドを提出できない場合には、TRIZ シンポジウム
事務局が英文スライドを作成しますが、時間的な制約も大きいですから、
翻訳の質については事務局にご一任いただきたく、お願いします。

オプション(5): 論文(和文) [MS Word ファイル]
希望者のみ。正式の論文形式。書式(1段組/2段組など)特に指定しない。
A4 で 10 頁以内。

オプション(6): 論文(英文) [MS Word ファイル]
希望者のみ。正式の論文形式。書式(1段組/2段組など)特に指定しない。
A4 で 10 頁以内。

注意 a: 和文 Proceedings には、上記の(和文)発表スライドまたは(和文)論文のうち、
著者が指定するどちらか一方だけを掲載します。著者が指定下さい。
英文 Proceedings には、上記の(英文)発表スライドまたは(英文)論文のうち、
著者が指定するどちらか一方だけを掲載します。著者が指定下さい。
なお、Proceedings に論文を掲載する場合にも、スライド(和文・英文)の提出は
必須です。

注意 b: 実際の発表のスライドと、上記の提出/印刷指定のスライドとが、一部分異なる
場合があることは、許容します。
(デリケートな情報で、「見せるだけ」にしたい場合など。)
提出されたスライド一式は、上記の英訳/印刷などの処理対象とします。

注意 c: スライドを印刷する場合は、4スライド/頁を基本とする。文字の大きさに注意。
どうしても 2スライド/頁を必要とする場合には、特記すること。
印刷は、グレースケール、背景色なしで行う。
グレースケールで文字が不鮮明にならないように注意のこと。
全面が濃い背景色の画面の場合には、特に注意ください。

原稿提出の方法:

締め切り: 7月31日(月)17:00

注意: 発表数が当初予想よりも多くなり、スライドを英日および日英翻訳する事務局処理が多くなりましたので、発表募集の際のアナウンスよりも1週間早めました。

事情ご賢察いただき、締切厳守でお願いします。

送付方法: 電子メールに添付して送付。MS Word, PowerPoint ファイルなど。

送付先: 下記の2箇所に同時に送付下さい。[事務の万全を期すため。]

中川 徹 nakagawa@utc.osaka-gu.ac.jp

小西 慶久 konishi@mri-ra.co.jp (または、konishi@mrisys.co.jp)

5. ポスター発表の発表者への注意と依頼

発表の形式: 大きな会議室の中の指定のコーナー/壁面で、複数の発表を並行して行う。参加者はそれぞれ各自の関心がある発表者のところに順次訪問する。説明のためには、複数スライドを印刷して掲示する。デモなども可能。全体で80分。

まず最初に15~20分の説明をし、5~10分の質疑応答をして下さい。その後は臨機応変とし、参加者の要請/質問に答えつつ、数名~十数名程度の人たちに、比較的短時間(例えば5~10分)で説明し、随時質疑応答する。この説明を複数回繰り返す。

なお、事前の時間帯で、「ポスターセッションの紹介」のセッションを持つ。2分間で自分の発表の概要を全員に話して下さい。この時に使うスライドを2~4枚だけ指定して下さい。多すぎないこと。

発表の設備: 事務局で、各発表者用に、模造紙3枚、マジックインク、セロテープなど用意。必要によりテーブルを使うことができる。

各自は、見やすい大きさの文字のスライド印刷物(A4/B4サイズなど)を用意。模造紙に張り付けて、壁面に掲示する。模造紙は縦にして左右連続3枚までとする。
注: 模造紙のサイズは: A0版 841 × 1189 mm

ポスターセッションの会場は、一般発表などの会場とは別に用意しました。ポスターは初日に掲出すれば、3日間掲示しておけるようにする予定です。[ただし、第1日、第2日の会場(3階)と第3日の会場(1階)が異なります。]

配布資料用の原稿ファイルの提出:

基本的には一般発表の場合と同様です。[上記の4.項も参照下さい。]

ただし、スライドの日・英同時投影に対応するものではありません（希望者は独自にできる）。
ポスター展示用スライドは当日に各自で用意・持参下さい。（念のために 2 部）

（印刷配布用スライドと同じでなくてよい）。

印刷配布用の、和文のもの（スライドまたは論文）は必須です。

英文のもの（スライドまたは論文）はオプションです。

**必要事項(0)： 送付メール： 受理番号、発表題目、著者（所属）、送付ファイルの概要、
和文 Proceedings 掲載項目指定、英文 Proceedings 掲載項目指定。**

必要事項(1)： 発表題目、著者（所属）、200 字程度の概要、説明文（図表も可）。（和文）

必要事項(2)： 英文の発表題目、著者（所属）、概要（上記概要の英訳）。

**必要事項(3)： スライド（和文） [PowerPoint ファイル] または 論文（和文）
Proceedings に印刷・掲載するためのものです。
展示用のスライドと同じでもかまいません(違ってよい)。**

**必要事項(4)： ポスター紹介スライド（和文）+ 同（英文） [PowerPoint ファイル]
「ポスターセッションの紹介」で 2 分間以内で話すためのスライド。
2~4 枚のこと。**

**オプション(5)： スライド（英文） または 論文（英文）。
Proceedings の英文版に印刷・配布します。**

注意： 当日持参 必要事項 (6)： 模造紙に貼り付けるためのスライド印刷物一式

6. 「デモと PR コーナー」への発表希望者への注意と依頼:

「デモと PR コーナー」は、会場内の適当な指定場所において、基本的に常設いたします。
営業的な要素のある広報活動、勧誘活動を認めます。

休憩時間などを活用下さい。

また、「ポスターとデモのセッション」の時間帯には、ポスター発表者と同様に
説明員をつけて、説明・デモなどをして下さい。

なお、このコーナーの開設については、予めつぎの担当者と打合せ下さい。

総括担当： 三原祐治（富士写真フイルム） mihara@ffhd.fujifilm.co.jp

7. 発表などに対する著作権の扱いについて（発表募集時のものを再掲）

前提事項： 発表申込みおよび発表資料の提出時点において、
発表者はその内容が他者の著作権などを侵害していないことを確認し、
また社内の発表許可などを経ているものとします。

発表時期: 発表資料の公表時点はシンポジウム初日 8月31日とします。

著作権: 発表資料の著作権は、著作者本人にあるものとします。

よって、著者はTRIZシンポジウムの後に、自分が適当と考える方法で、他に投稿・発表などができます。

発表者は、以下の事項に対して「日本TRIZ協議会」に非排他的な権利を譲渡するものとします。

- ・ 「第2回TRIZシンポジウム」での当日配布資料に印刷し、配布すること。
- ・ また、その資料の複製を後日配布・販売すること。
- ・ 日本TRIZ協議会が適切と考える Web サイト（複数可）で、後日公開あるいは限定開示すること。
- ・ 事務局による発表のスナップ写真撮影を許可し、それらを日本TRIZ協議会が適切と考える方法で、掲載、配布、案内資料などに使うこと。

8. 追加の発表申込みを受け入れる可能性について

公募による発表の申込みは、すでに一旦締め切っております。(5月12日締切)

ただし、今後、少数の発表申込み追加で受け入れる可能性を以下の条件で残しております。

- (a) 発表の申込みを希望する者は、一般公募の規定に従った「概要」等を、6月30日(金)18:00までにプログラム委員長・同副委員長に提出すること。
- (b) プログラム委員会で審査の後、「ポスター発表」に限定して認めることがある。
- (c) 追加で発表を認められた場合も、正規の場合と同じ規定で最終原稿を提出すること。原稿提出締切は、7月31日(月)18:00である。

もし、皆さんの周りで希望する人があれば、本件をお伝え下さい。

9. プログラムの変更・調整の可能性について

つぎの場合には、プログラムを調整することがあります。ご了解下さい。

- (a) 最終原稿が期日までに提出されず、あるいは、参加登録がなされない場合。この場合には、発表プログラムから削除するとともに、Proceedingsからも削除することがあります。
- (b) 著者の健康上、職務上、その他のしかるべき理由で、欠席あるいは日時変更が必要となった場合。
- (c) 会場の都合、その他で、発表時間の入れ替え、変更が必要になった場合。

10. 連絡先

プログラム委員長: 中川 徹 nakagawa@utc.osaka-gu.ac.jp
同 副委員長: 小西 慶久 konishi@mri-ra.co.jp (または、konishi@mrisys.co.jp)

以上